

10年ぶりに国内24時間レース復活！ 富士スピードウェイ24時間レース開催計画を発表

富士スピードウェイは、2018年度のスーパー耐久シリーズ富士大会を、24時間耐久レースとする計画を発表した。レース名は「富士 SUPER TEC 24時間レース」、6月上旬での開催を目標に調整を進めている。

富士スピードウェイは、かねてより「耐久の富士」として耐久レースに力を入れており、10月の世界耐久選手権富士6時間レースを始め SUPER GT500Km レースやスーパー耐久 富士 SUPER TEC の長時間化、12月に開催する GOODYEAR Vitz & 86/BRZ Dream Cup (6H レース) など数々の耐久レースを開催している。今回のスーパー耐久シリーズの24時間での開催は「耐久の富士」を象徴するレースとして、また「世界に発信できる日本の耐久レース」として、今後、地元小山町、御殿場市、裾野市と調整を行いながら準備を進めていく。

日程や参加車両規定に関する発表は JAF、STO などと協議して決定次第別途行う予定。

富士スピードウェイでの24時間レースは、1967年4月と1968年3月の2回開催されており、第1回大会は日本初の24時間レースとして細谷四方洋/大坪善男組のトヨタ2000GTが勝利を飾っている。あれから50年ぶりに富士スピードウェイに24時間レースが帰ってくることになる。

また、それ以降、日本での24時間レースは、スーパー耐久シリーズの一戦として、北海道の十勝スピードウェイで1994年から2008年まで15回開催されており、スーパー耐久シリーズの24時間レースは10年ぶりとなっている。

世界の4輪での24時間レースは、「世界3大耐久レース」として、フランスのル・マン、アメリカのデイトナ、ベルギーのスパ・フランコルシャンでのレースが有名だが、近年はドイツのニュルブルクリンクで行われる24時間レースも多くの日本人エントラントが参加しており、注目を集めている。いずれの大会も40年以上続く歴史と伝統のある大会となっており、世界的認知度も高い。富士24時間レースが日本開催の耐久レースとしてグローバルに認知されていくことを期待しての開催となる。

■ STO（スーパー耐久機構）桑山事務局長のコメント

「私たち STO の念願だった24時間レースの開催に向けて富士スピードウェイが準備を進めていただくことになり、たいへん嬉しく思っております。この24時間レース実現のために STO としても全面的に協力させていただき、正式発表を心待ちにしております。」



1967年4月、富士スピードウェイで開催した24時間レース



2008年まで開催していた十勝24時間レース



2016年スーパー耐久シリーズ
FUJI SUPER TEC

大会開催概要（予定）

- 大会名称: スーパー耐久シリーズ 2018 第__戦
(Super Taikyu Series 2018 Rd.__)
「富士 SUPER TEC 24 時間レース大会」
(FUJI SUPER TEC 24Hours)
※ラウンド数は未定
- 主催: 富士スピードウェイ株式会社、FISCO クラブ
- 開催日程: 2018 年 6 月上旬にて調整中
- 公認: 国際自動車連盟 (FIA)、
一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)
- 認定: スーパー耐久機構 (S.T.O)
- レース形式: 24 時間耐久レース
- 参加車両: スーパー耐久シリーズ参加車両 (特認車両含む)
- 車両規定: 音量規制を予定 (特別規則書にて規定)

以上